

SynObs・Ocean Observing Co-design 国際ワークショップ 2026 のプログラム概要

1. ワークショップ名

Toward Codesigning Sustainable and Fit-for-purpose Ocean Observing Systems
- SynObs & Ocean Observing Co-design International Workshop 2026 -

2. 日程 2026 年 8 月 24 日（月）～ 8 月 30 日（日）

3. 場所 下北文化会館（青森県むつ市）

4. 主な開催イベント

① 国際研究集会

1. 日程 2026 年 8 月 24 日（月）～ 8 月 27 日（木）

2. 目的

- ✓ 海洋観測システムの設計に関する経験や計画の共有
- ✓ 海洋・気候・気象予測や他のアプリケーションに対する海洋観測の影響評価
- ✓ 海洋観測データの効率的利用のための海洋データ同化や他の手法の開発

3. 形式

- ✓ 口頭発表、ポスター発表、総合討論等
- ✓ 現地参加のほか、Web 会議システムによるオンライン参加も可能。

4. 想定参加人数

- ✓ 現地参加者 国内 30 人、海外 35 人の約 65 人
- ✓ オンライン参加者 約 40 人

② 一般向け講演会（タウンホール）

1. 日程 2026 年 8 月 29 日（土）

2. 目的

- ✓ 市民、特に現地の高校生、大学生への国連海洋科学の 10 年に関連する取り組みや海洋予測に関する最先端の研究の紹介

3. プログラム案

- | | |
|-------------|--|
| 13:00-13:05 | 歓迎のことば（むつ市長、山本知也氏） |
| 13:05-13:10 | 趣旨説明（気象研究所、藤井陽介氏） |
| 13:10-13:50 | E. Remy 氏（フランス・メルカトール海洋研究所）
「欧州で躍動する“予測できる海”」 |
| 13:50-14:10 | 広瀬直毅氏（九州大学）「漁船観測によって予測できる海」 |

- | | |
|-------------|---|
| 14:10-14:30 | 石川洋一氏（JAMSTEC）「海と地球のデジタルツインで広がる応用」 |
| 14:30-14:45 | 山本隆久氏（青森県農林水産部水産局水産振興課）
「青森県の取り組み紹介」 |
| 14:45-14:55 | 質疑応答・討論 |
| 14:55-15:00 | 閉幕あいさつ（JAMSTEC、増田周平氏） |
4. 想定参加人数 300 人程度

この他、Ocean Observing Co-design の熱帯低気圧観測検証グループ（Tropical Cyclone Exemplar）や SynObs 主要メンバーの会合などが開催される。